



海の道むなかた館年報VI

平成29年度の報告

～宗像市郷土文化学習交流館年報～



宗像市教育委員会

はじめに

宗像市郷土文化学習交流館「海の道むなかた館」は、宗像市の博物館として、また、平成29年7月に世界文化遺産に登録された「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群のガイダンス施設として、平成29年度は開館以来最多の181,692人が入館。平成24年4月の開館からこれまで861,565人の入館者をお迎えしました。これもひとえに、多くの皆さまのおかげだと思っています。感謝申し上げます。

宗像市は、海・川・山といった豊かな自然と田畑に恵まれ、原始・古代から近・現代まで、たゆまぬ歴史を刻み、歴史的な文化遺産は、市内各所に数多く大切に保存されています。

当館では、それらの貴重な文化遺産を次世代に守り伝えるべく、まずは基礎的な調査・研究を行っています。また、その成果を展示や講座などを通じて、市民の皆さまの関心を高め、かつ、楽しんでいただけるように心がけて参りました。

そして、未来を担う子どもたちに、郷土の歴史や文化を楽しみながら学んでもらおうと、勾玉づくりをはじめとした種々の古代体験の提供や、未来を見据えて先端技術を学ぶロボット工作などの体験なども用意して参りました。

このように、博物館としての機能を充実させる一方、世界文化遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の保存・活用の活動拠点施設として、沖ノ島の臨場感あふれる3D映像やVR（バーチャル・リアリティ）映像、各種展示物などを提供しています。その他にも、1年間を通じて四季折々に各種イベントを実施し、市内外の皆さまの交流の場としても活用されています。

また、世界文化遺産・宗像大社辺津宮は、宗像市はもとより、日本や東アジアの歴史の理解に欠くことのできない存在です。当館が宗像大社辺津宮の北側に隣接しているという地の利からも一体的な発展を願っています。

開館から6年を経過した当館の運営を振り返りますと、市内外の多くの人々に親しまれ、愛されてきたことを実感しますとともに、地域学芸員の皆さまの献身的で精力的なボランティア活動に頭が下がる思いです。この場を借りて感謝申し上げます。

私たち館員一同は、引き続き一丸となって、常に新しく、また、理想的な博物館像を模索しながら、市民の皆さまのご期待に添えるよう、さらに努力を重ねて参ります。私たちの活動に対しまして、皆さまの一層のご理解とご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成30年9月1日

海の道むなかた館

館長 西谷 正

目次

<p>1 海の道むなかた館の概要</p> <p>1. 建設から現在に至る経緯 1</p> <p>2. 沿革 1</p> <p>3. 館の目的・機能 2</p> <p>4. 館の利用案内 2</p> <p>5. 館の主要施設概要 3</p>	<p>3. 夏の課外授業（夏休み特別体験学習） 16</p> <p>4. 宗像大社みあれ祭陸上神幸 16</p> <p>5. 第4回むなかた模型作品展示会 . . . 16</p> <p>6. 正月イベント 16</p> <p>7. ミュージアムコンサート 17</p>
<p>2 管理運営体制</p> <p>1. 組織 4</p> <p>2. 郷土文化学習交流館協議会 5</p> <p>3. 平成29年度決算 6</p> <p>4. 宗像市郷土文化学習交流館建物概要 6</p>	<p>7 他のイベントとの連携 18</p> <p>1. 福岡県立宗像中学校・高等学校 文化祭 18</p> <p>2. 道の駅むなかた 495まつり 18</p> <p>3. 北斗の水くみ観望会 18</p> <p>4. 玄海わくわくチャレンジデー 18</p> <p>5. むなかたわくわく教育フェスタ 18</p> <p>6. アサギマダラ観察会 18</p>
<p>3 展示</p> <p>1. 常設展示室 7</p> <p>2. 特別展示室 8</p> <p>3. 展示室リニューアル 8</p> <p>4. 第2展示室展示 9</p> <p>5. 3Dシアター 10</p>	<p>8 文化財保護事業 19</p> <p>1. 開発事前審査 19</p> <p>2. 文化財の指定・現状変更 19</p> <p>3. 田熊石畑遺跡歴史公園の利活用状況 . . . 20</p>
<p>4 体験学習</p> <p>1. 古代体験学習 11</p> <p>2. 特別体験学習 12</p>	<p>9 むなかた電子博物館 22</p> <p>1. 月間ページビュー 22</p> <p>2. イベントの開催 22</p>
<p>5 講座</p> <p>1. 館長講座 14</p> <p>2. 世界遺産登録記念講演と特別対談 14</p> <p>3. 西谷館長ギャラリートーク 15</p> <p>4. 出張講座（ルックルック講座） 15</p>	<p>10 統計 23</p> <p>1. 平成29年度 月別入館者数 23</p> <p>2. 市内小・中学校入館者数 23</p> <p>3. 団体入館者数 23</p>
<p>6 各種イベント</p> <p>1. ゴールデンウィーク特別体験学習 16</p> <p>2. 海の道むなかた館リニューアルイベント 16</p>	<p>11 参考資料</p> <p>1. 宗像市郷土文化学習交流館条例 . . . 24</p> <p>2. 宗像市郷土文化学習交流館条例施行規則 25</p> <p>3. 館内案内図 30</p> <p>4. 平成29年度「海の道むなかた館」 イベントスケジュール 32</p>

1 海の道むなかた館の概要

1. 建設から現在に至る経緯

宗像市郷土文化学習交流館（海の道むなかた館）は、玄海文化センター（アクシス玄海）という多目的な文化施設を改修することで生まれ変わった施設である。

アクシス玄海は平成4年に観光物産館・文化施設として開館。宗像大社辺津宮に隣接し、多くの集客があった。平成10年には、観光物産館を改装し、地産地消をモットーに地元の魚介類や農産物の直売所として集客を誇った。

その後、平成20年に道の駅むなかたのオープンによって物産館の機能が移転され、アクシス玄海の機能は、文化ホール、図書館、会議室、文化財の整理室として継続されることとなった。また、管理主体は、開館以来、旧玄海町及び宗像市の直営であったが、平成18年4月から平成23年3月までは地元の田島地区コミュニティ運営協議会（当時）が管理運営に携わっていた。

平成22年7月、宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画を策定し、その2年後の平成24年4月28日、海の道むなかた館が開館する運びとなった。

平成29年7月、ポーランドで開かれた世界遺産委員会において、「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」が世界遺産に登録決定した際には、当館でパブリック・ビューイング（7月9日、インターネットによる実況中継）を実施。約400人が参加し、歓喜に沸いた。

2. 沿革

平成4年(1992)	5月	玄海文化センター（アクシス玄海）開館
平成21年(2009)	9月	宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画ワーキング会議の設置 宗像市郷土文化学習交流施設基本計画連携推進委員会の設置
	10月	宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画策定業務委託の着手
平成22年(2010)	5月	パブリックコメントの実施
	7月	宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画の策定
	9月	宗像市郷土文化学習交流施設展示ホールほか実施設計委託の着手
平成23年(2011)	3月	宗像市郷土文化学習交流施設展示ホールほか実施設計委託の完了
	6月	第1期地域学芸員養成講座（初級）の開講
	7月	宗像市郷土文化学習交流施設愛称募集（市民公募）
	8月	宗像市郷土文化学習交流施設展示ホールほか改修工事の着工
	12月	宗像市郷土文化学習交流館条例の制定 「海の道むなかた館」に愛称決定
平成24年(2012)	3月	宗像市郷土文化学習交流施設展示ホールほか改修工事の竣工 「海の道むなかた館」商標原簿に登録
	4月	海の道むなかた館の内覧会（4月21日） 海の道むなかた館の開館（4月28日）
	9月	第1期地域学芸員養成講座（中級）の開講
	平成25年(2013)	5月
	6月	海の道むなかた館西館改修外工事の竣工
	7月	海の道むなかた館周辺整備工事の着工
	10月	第2期地域学芸員養成講座（初級）の開講

平成 26 年 (2014)	3 月	海の道むなかた館周辺整備工事の竣工
	11 月	第 2 期地域学芸員養成講座 (中級) の開講
平成 28 年 (2016)	9 月	国際記念物遺跡会議 (イコモス) 視察調査
平成 29 年 (2017)	7 月	第 41 回世界遺産委員会パブリックビューイング (世界遺産登録決定)
平成 30 年 (2018)	1 月	沖ノ島 VR 映像を導入 (NTT ドコモ提供)
	3 月	展示室に大型スクリーン設置

3. 館の目的・機能

「宗像市郷土文化学習交流施設基本構想・基本計画」では、館の理念を 3 つ掲げる。

- ① 歴史文化の継承
- ② 市民と協働し、連携する地域還元型の施設
- ③ 市域の自然や歴史文化を結ぶコア施設

これらを受け、次の 4 つの機能を軸にして、館の運営を行う。

● 博物館機能

「海の道」というテーマのもとに、玄界灘の玄関口として、古代から大陸文化との交流の窓口になった宗像について、歴史や文化を時代ごとに展示する構成である。

常設展示施設 (旧石器時代から現代まで)、企画展示ブース、特別展示室を通じて、宗像の歴史の歩みをわかりやすく解説する。

● 世界遺産機能

平成 29 年 7 月に世界遺産に登録された「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」のガイダンスを、3 D シアター、VR、大型スクリーン、展示などを活用し、解説する。

● 体験学習機能

勾玉づくり、土笛づくり、火おこし、古銭鑄造などの古代体験メニューをそろえ、子どもから大人まで幅広く楽しめる体験学習を実施する。

● 交流館機能

過去・未来・現代をつなぐコンセプトとして「ものづくり」を提唱。過去のものづくりとして、歴史的な道具の変遷 (常設展示等)、現在・未来については、ロボットの進化 (株式会社テムザック) やクルマづくり (トヨタ自動車九州株式会社) などの展示を解説する。

また、喫茶コーナーとしてショップ「宗像蒼の社」を営業し、休憩スペースも設置している。

なお、歴史文化の中核施設としてグランドオープンした国史跡・田熊石畑遺跡や、装飾古墳である桜京古墳をはじめ、宗像大社、鎮国寺など周辺施設と連携した事業を展開する。

4. 館の利用案内

● 開館時間

9 時～18 時

● 休館日

- ・月曜日 (月曜日が祝日・振替休日にあたる時は、その翌平日)
- ・12 月 29 日～翌年 1 月 3 日 (1 月 1 日～1 月 3 日は臨時開館)

● 入館料

無料（特別展示等において有料の場合あり）

● 交通アクセス

【車で】

・九州自動車道・若宮インターから約20分、古賀インターから約25分

【公共交通機関で】

- ・西鉄バス「東郷駅前」バス停から、宗像大社経由・[1] 神湊波止場行き、
または [1-2] 光陽台六丁目行きバス（約11分）、「宗像大社前」下車
- ・天神方面からは、特急バスむなかた号で「宗像大社前」下車

5. 館の主要施設概要

郷土文化学習交流館		
施設名	面積	摘要
【1階：展示】		
風除室	33㎡	ホールへの外気の進入を防ぐ
郷土文化課事務室	70㎡	総合案内、郷土文化係及び文化財係事務室
ホール	397㎡	ショップ「宗像蒼の社」、世界遺産紹介
ロッカー室	10㎡	来館者用ロッカー
常設展示室	386㎡	宗像の歴史展示、世界遺産関係展示、企画展示
重要文化財展示室	53㎡	田熊石畑遺跡出土青銅器等の重要文化財を展示
荷解室	25㎡	収蔵品や借用展示品の梱包や荷解きを行う
前室	14㎡	収蔵品や借用展示品を展示室の環境に慣らす
重要文化財収蔵庫	25㎡	重要文化財等の収蔵
3Dシアター	33㎡	沖ノ島紹介3Dシアター・VR
ボンベ室	8㎡	重要文化財展示室及び収蔵庫の消火設備
体験学習室	244㎡	宗像地域の自然、歴史、文化等を活用した体験学習等実施
土器復元室	42㎡	埋蔵文化財復元作業等を行う
倉庫	25㎡	体験学習関係（勾玉づくり、土笛づくり等）道具・材料の収納
トイレ	77㎡	男女トイレ、多目的トイレ
【1階：図書館・講義室】		
宗像市民図書館（深田分館）	423㎡	郷土の歴史、自然、文化等関係書籍を充実
第2展示室	110㎡	企画展示や絵画展示を行う
講義室	134㎡	各種講座等の開催
館長室	33㎡	館長室
新修宗像市史編さん事務局事務室	50㎡	新修宗像市史編さん事務局事務室
清掃員控室	15㎡	清掃員の控室及び休憩室
埋蔵文化財整理室	100㎡	文化財整理作業
ボランティア控室	59㎡	地域学芸員等のボランティア活動スペース
授乳室	3㎡	図書館横授乳室
トイレ	40㎡	図書館横トイレ
【2階】		
図書整理室	96㎡	図書整理室
図書準備室	69㎡	図書準備室
埋蔵文化財関係書庫	69㎡	酒井文庫、文化財報告書等の収蔵
郷土資料関係倉庫	31㎡	市史編さん関係資料等の収蔵
【地階：収蔵庫】		
収蔵庫	367㎡	文化財調査出土品等の収蔵
収蔵庫	41㎡	文化財調査出土品等の収蔵
機械室	25㎡	ホール用空調設備機器設置
倉庫	10㎡	文化財関係書類等保管
収蔵庫	17㎡	文化財調査出土品等の収蔵

2 管理運営体制

1. 組織

(1) 平成29年度 館の機構

館長 西谷 正

市民協働環境部 郷土文化課

課長 吉原 賢治

○館管理運営業務

郷土文化係

係長 合島 賢二

企画主査 安部 裕久

主任主事 井上 賢司

技師 坂本 雄介

技師 磯部 真生

非常勤任用職員 鎌田 隆徳

○文化財業務

文化財係

主幹兼係長 白木 英敏

主任技師 山田 広幸

技師 田子森 千子

技師 豊崎 晃史

技師 池田 拓

技師 佐藤 正義

再任用職員 原 俊一

○新修宗像市史編さん業務

局長 灘谷 辰生

主査 判田 博明

非常勤任用職員 須佐 弘美

非常勤任用職員 横尾 和彦

非常勤任用職員 岩尾 清治

(2) 地域学芸員

海の道むなかた館では、平成23～26年度に実施した第1期及び第2期地域学芸員養成講座の修了者が市民ボランティア「地域学芸員」として、館の展示解説や体験学習指導、地域遺産調査などを担っている。

平成29年度は71人の地域学芸員が活動。市では、地域学芸員の館内での1回の活動に対して1,000円の特別旅費を支払っている。

○平成29年度活動状況

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	163	179	176	168	199	181	213	179	162	198	191	218	2,227

2. 郷土文化学習交流館協議会

宗像市郷土文化学習交流館条例に基づき、教育関係者、学識経験者、市民代表等で構成された委員が、館の運営に関し、必要項目を審議する機関である。

(1) 第1回宗像市郷土文化学習交流館協議会

日程：平成29年11月2日(木)

会場：海の道むなかた館 講義室

- 議題：(1)平成28年度宗像市郷土文化学習交流館事業報告について
 (2)平成29年度宗像市郷土文化学習交流館事業(4月～9月)について
 (3)「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群について

(2) 第2回宗像市郷土文化学習交流館協議会

日程：平成30年3月29日(木)

会場：海の道むなかた館 講義室、体験学習室

- 議題：(1)地域学芸員との意見交換
 ①来館者の関心・反応
 ②来館者への説明
 (2)展示室のリニューアルについて
 (3)「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の登録後の状況について
 (4)宗像市郷土文化学習交流館条例の一部改正について
 (5)平成29年度宗像市郷土文化学習交流館事業の状況について
 (6)平成30年度宗像市郷土文化学習交流館事業計画(案)について

○宗像市郷土文化学習交流館協議会 委員名簿

任期：平成29年3月1日～平成31年2月28日

	区 分	氏 名	役 職 等
1	学校教育及び社会教育の関係者	樋田 京子	太宰府市教育委員会委員
2		藤 周作	玄海東小学校教頭
3	家庭教育の向上に資する活動を行う者	牟田 貴美子	自由ヶ丘地区コミュニティ運営協議会 青少年育成部会会長
4	学識経験者	亀井 輝一郎	福岡教育大学名誉教授
5		河窪 奈津子	宗像大社神宝館文化財管理局学芸員
6	市民代表	海出 耐祐	玄海地区コミュニティ運営協議会長
7		園元 かをり	市民公募(海の道むなかた館地域学芸員)

3. 平成29年度決算

(単位：円)

海の道むなかた館予算（円）	展示活用事業費	管理運営費
報酬	1,800,000	3,660,800
共済費	293,058	16,995
賃金	0	2,287,350
報償費	167,500	0
旅費	2,286,600	26,000
需用費	3,018,570	11,980,230
役務費	166,269	559,616
委託料	5,436,832	12,673,526
使用料及び賃借料	0	705,896
工事請負費	1,586,109	0
備品購入費	222,804	0
負担金・補助及び交付金	10,000	0
公課費	0	6,600
決算額	14,987,742	31,917,013

4. 宗像市郷土文化学習交流館建物概要

所在地	福岡県宗像市深田588番地
階数構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨構造 地上3階 地下1階
敷地面積	11,082.02㎡
用途地域	準都市計画区区域内(平成24年4月1日現在)
既存建物床面積	3,973.26㎡
既存建物建築面積	2,934.38㎡
既存建物竣工年月日	平成4年3月31日
現建物床面積	3,901.42㎡
現建築面積	2,978.85㎡

3 展示

1. 常設展示室

いにしえより、人や物が絶え間なく往来した玄界灘を舞台に、悠久の歴史を刻んできた宗像。この宗像の人々が活躍した玄界灘の交易に着目し、「海の道」をテーマに宗像市における旧石器時代から現代までのさまざまな「道」について紹介する。

○展示物

【ヒトの来た道】

時 代：旧石器時代～縄文時代

展示物：(旧石器時代) 池浦トボシ遺跡出土ナイフ形石器、田野瀬戸遺跡出土旧石器など
(縄文時代) さつき松原遺跡出土曾畑式土器、鐘崎(上八)貝塚出土鐘崎式土器、縄文土器復元レプリカ、縄文人形など

【稲作が渡った道】

時 代：弥生時代

展示物：東郷登り立遺跡出土弥生土器・紡錘車、須恵クヒノ浦遺跡出土炭化米、光岡長尾遺跡出土石包丁をはじめ市内遺跡出土の磨製石斧、久原遺跡銅剣・銅矛レプリカ、弥生人形など

【最先端技術が渡った道】

時 代：古墳時代

展示物：富地原川原田遺跡出土土器(甕、手づくね土器、台付鉢など)、大島大岸遺跡出土移動式竈、大井三倉遺跡出土須恵器甕、大井三倉遺跡出土須恵器高坏など

【半島・大陸との交流の道】

時 代：古墳時代

展示物：朝町山ノ口遺跡出土鉄鉗、野坂一町間遺跡出土鉄滓、久原遺跡Ⅱ区3号墳出土埴輪、久原瀧ヶ下遺跡出土コップ形土器、東郷高塚古墳出土勾玉・管玉、牟田尻中浦古墳群飾履レプリカ、古墳人形など

【拡大する海外交流の道】

時 代：古代～中世

展示物：武丸大上げ遺跡出土鬼瓦、久原遺跡出土陶磁器など

【街道と海女の道】

時 代：江戸時代～現代

展示物：赤間宿跡出土遺物(屋号銘入り徳利、染付碗など)、海女道具一式(県指定文化財)など



2. 特別展示室

時代：弥生時代

展示物：田熊石畑遺跡出土武器形青銅器・装身具・復元レプリカ、光岡長尾遺跡出土土笛、田久松ヶ浦遺跡出土土器・磨製石剣・磨製石鎌、土笛を吹く少女人形

3. 展示室リニューアル

本年度は、世界遺産登録に伴い、例年の特別展に替えて展示室内のリニューアルを行った。

(1) 常設展示室リニューアル

第1展示室のこの字ブースのパネル等を世界遺産中心にリニューアルするとともに、沖ノ島の2D映像ブースを設置した。

(2) 大型スクリーン設置

沖ノ島を体感する大型スクリーン(タテ7m×ヨコ18m)を設置した。

展示室閉鎖期間：平成30年2月26日(月)～3月26日(月)

リニューアルオープン：平成30年3月27日(火)

(3) 仮設展示「宗像の民展」

大型スクリーン設置工事のための展示室閉鎖に伴い、世界遺産ガイダンス機能を維持するため、体験学習室に海の民の活動を示す浜宮貝塚などの出土品と、里の民の活動を示す富地原川原田遺跡などの出土品を展示したほか、世界遺産説明ブースや仮設映像ブースを設置し、VR・2Dの沖ノ島映像を放映した。

日程：平成30年2月27日(火)～5月13日(日)



▲大型スクリーン



▲仮設展示「宗像の民展」

4. 第2展示室展示

(1)「海の道むなかた館～5年間の軌跡～」

海の道むなかた館で今までに開催した特別展の紹介パネルを中心に、海の道むなかた館の5年間の歩みを紹介した。

日程：平成29年3月1日(水)～4月30日(日)

(2)「宮本秋風作品展」

『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」を題材にした作品など、木版画や油絵を展示。木版画制作に使用した版木など、貴重な資料も展示した。

日程：平成29年5月2日(火)～8月31日(木)



▲宮本秋風作品展

(3)「第4回滝純一絵画展」

福岡教育大学名誉教授・滝純一氏の絵画作品の中から、鳥をテーマに「鳥の道」(1998年)、「風会瀬の鳥」(2009年)、「鳥の翳り」(2011年)などを展示した。

日程：平成29年9月26日(火)～10月29日(日)

(4)「わたしたちの水絵画コンクール作品展」

“かけがえのない水”をテーマに実施した絵画コンクール。宗像市と福津市の小学4・5・6年生を対象に募集した中から、入賞作品を展示した。

日程：平成29年11月1日(水)～11月26日(日)

主催：宗像地区事務組合

(5)「海の道むなかた館出前授業展」

海の道むなかた館の取組の周知を図るとともに、郷土愛を醸成するために、出前授業のツール等を展示した。

日程：平成29年12月6日(水)～平成30年1月4日(木)

(6)「第66回福岡県小学校児童画展 入選作品展(宗像区)」

宗像市と福津市の小学生の「福岡県入選」作品を210点展示した。

日程：平成30年1月6日(土)～1月19日(金)

主催：宗像区小学校図画工作教育研究会

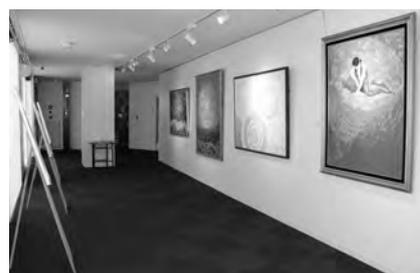


▲小学校児童画展

(7)「納富賢智作品展 ～呼応する歴史浪漫～」

世界遺産登録を記念して、日本画家である故・納富賢智氏のご遺族から寄贈いただいた作品の中から考古資料を題材とした作品4点と、その絵の題材と関わりのある宗像市の装飾古墳や鏡の解説資料もあわせて展示した。

日程：平成30年2月20日(火)～4月30日(月・振休)



▲納富賢智作品展

5. 3Dシアター

通常は上陸することができない沖ノ島の島内の様子を3D映像でリアルに見ることができる。その他に、宗像大社の神事の映像や歴史アニメも上映している。

(1) 3D映像

① 『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群(上映時間：11分)

500年にも及ぶ国家的祭祀、祭祀を担った宗像氏、神に捧げられた8万点もの宝物、宗像三女神の誕生、今も息づく宗像大社の信仰など、世界的な資産価値を有する「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群をわかりやすく解説する。



② 「宗像大社の神事—人々の信仰と祈り—」(上映時間：13分)

沖津宮の田心姫神と中津宮の湍津姫神の神輿を載せた2隻の御座船と宗像七浦の船団により繰り広げられる「みあれ祭」をはじめ、古代の信仰を今に引き継ぐ宗像大社のさまざまな神事を紹介する。



③ 「沖ノ島の自然—太古の姿をそのままに—」(上映時間：8分)

沖ノ島全島は、1926年(大正15年)に国の天然記念物に指定されており、現在も禁忌によって人の往来が制限されているこの島では、絶滅が危惧されている植物が繁殖し、市の鳥でもあるオオミズナギドリの大繁殖地となっていることなどを紹介する。



④ アニメ「海の民 ムナカタ」

マンガ「海の民宗像」(梓書院)を原作とし、古代において日本と大陸との活発な対外交流の舞台であった宗像の歴史や宗像の海に生きた人々について紹介する。(フィクション)

第1話—「玄界灘の守り神」(上映時間：9分)

第2話—「海人の都ムナカタ」(上映時間：7分)

第3話—「ムナカタとヤマトをつないだ海人」(上映時間：13分)

第4話—「玄界灘の軍神」(上映時間：10分)

第5話—「海の民ムナカタ」(上映時間：11分)



⑤ アニメ「海の民 ムナカタ」総集編(上映時間：18分)

総集編では、弥生時代から奈良時代にかけて大陸からの影響を受けながら大きく変化していく時代に生きた宗像の人々の心情や動向を描いている。

平成29年度3Dシアター視聴者数一覧表

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
視聴者数	1,659	3,091	2,808	2,960	4,079	4,057	4,802	5,592	3,155	3,325	2,474	446

合計：38,448人

(2) VR

沖ノ島の全貌を8Kで撮影した映像をゴーグルをつけて仮想現実体験をすることができる。

(株式会社NTTドコモから無償貸与を受け、平成29年度正月イベント時から視聴開始)

(単位：人)

	1月	2月	3月	合計
視聴者数	543	303	923	1,769

4 体験学習

1. 古代体験学習

毎週末及び祝日、イベント等で実施。

○勾玉づくり

内容：爪でも削れるやわらかい石（滑石）を使用し、粗さの違う3枚の紙やすりで削って作る。イベント等では、ピンクや黒の石も用意し、選べる勾玉づくりを開催した。

料金：100円（選べる勾玉づくりでは、100円～300円）

○古銭鑄造体験

内容：宗像市三郎丸今井城遺跡から出土した、和同開珎、万年通宝、神功開宝をモデルに製作した型と低温で融解する金属を使用し、古銭を作る。

料金：100円

○火おこし

内容：マイキリという火おこしの道具を使用して、火おこしを行う。

料金：100円

○土笛づくり

内容：光岡長尾遺跡から出土した土笛をモデルに、オープン粘土を使用して、土笛を作る。

料金：100円

○古代アートでエコバッグづくり

内容：古代に描かれた文様や装飾古墳について学んだ後に、布バッグに文様スタンプに押し、エコバッグを作る。

料金：100円

平成29年度 古代体験学習参加人数 月別集計表（定例及び団体の体験）

（単位：人）

	勾玉づくり		古銭鑄造		火おこし		土笛づくり		エコバッグづくり		土器づくり	
	有料	無料	有料	無料	有料	無料	有料	無料	有料	無料	有料	無料
4月	89	0	22	0	2	0	2	0				
5月	46	174	6	0	13	0	13	0				
6月	241	128	15	0	3	0	20	0				135
7月	134	35	13	0	5	0	33	0				
8月	231	0	29	0	18	0	12	0				
9月	127	93	17	0	3	0	9	0				
10月	26	76	7	0	4	0	0	0	5			
11月	114	0	4	0	0	0	0	0	8			
12月	17	0	4	0	5	0	2	0	6			
1月	18	0	15	0	0	0	3	0	2			
2月	23	83	11	0	2	0	15	0	9			
3月	13	0	4	0	3	0	0	0	0			
合計	1,079	589	147	0	58	0	109	0	30	0	0	135
体験別合計	1,668		147		58		109		30		135	

※表の無料体験は、市内小中学校の社会科見学での体験

表合計	2,147
特別体験	789
合計	2,936

※その他特別体験学習は、P12～13を参照

2. 特別体験学習

	体験名	日程	参加人数	内容	料金
1	選べる 勾玉づくり	・5月3日(水・祝) ～5月5日(金・祝) ・7月21日(金) ～8月31日(木) ・10月7日(土) ～10月9日(月) ・平成30年1月1日(月・祝) ～1月3日(水)	539人	ゴールデンウィークや夏の課外授業、495まつり、正月イベントで実施。白や黒、ピンク、特大の滑石を使用して勾玉を作った。	(白) 100円 (黒・ピンク) 200円 (特大) 300円
2	石けんで 石剣づくり	・5月3日(水・祝) ・5月5日(金・祝)	7人	ゴールデンウィークの特別体験として実施。宗像市田熊石畑遺跡から出土した石剣をモデルに、廃油でつくったエコ石けんを使用して石剣を作った。	100円
3	土器づくり	5月4日(木・祝)	6人	ゴールデンウィークの特別体験として実施。宗像市内各地から出土した土器をモデルに、オープン粘土を使用して土器を作った。	300円
4	化石発掘体験	7月16日(日)	14人	海の道むなかた館リニューアルイベントで実施。宗像市吉留でサイの祖先とされる日本最古の「ヒラキウス」の化石が発見されたことから、身近に化石を感じてもらうために、化石を発掘する体験を行った。	100円
5	藍染め体験	7月16日(日)	9人	海の道むなかた館リニューアルイベントで実施。海の道むなかた館で栽培した藍の葉を使って、コースターを染色する藍染め体験を行った。	300円
6	子ども考古学教室 ～目指せ未来の 考古学者!～	・7月29日(土) ・8月5日(土) ・8月19日(土)	7人	専門の学芸員の話聞いて、本物の土器などの出土品を題材に学芸員の仕事を体験したり、実際に遺跡を見学して宗像の歴史を学んだ。全3回の講座で、第1回は「考古学入門」、第2回は「遺跡を見学しよう」、第3回は「学芸員の仕事を体験しよう」を開催。	無料
7	トヨタ自動車九州 モノづくり教室 ～衝突安全ボデー～	7月30日(日)	48人	トヨタ自動車九州モノづくり教室と協働で開催。車が衝突したときの衝撃を吸収するにはどのような形がいいのか、紙でバンパーをつくり、衝撃の少なさを比べるコンテストを行った。	無料



▲化石発掘体験



▲子ども考古学教室

	体験名	日程	参加人数	内容	料金
8	宗像の蝶を 観察してみよう (むなかた電子博物館)	7月30日(日)	24人	むなかた電子博物館と協働で開催。宗像で見ることができる蝶とその観察方法を学んだ。講座後は希望者に蝶の入った飼育箱をプレゼントし、観察日記をつけて提出してもらい、優秀者には記念品を贈呈した。	無料
9	古代アートで エコバッグづくり	8月20日(日)	33人	福岡教育大学美術教育教室と協働で開催。古代に描かれた文様の意味を学んだ後に、文様のスタンプでエコバッグを作った。	100円
10	親子プラモ組立教室 (山梨市ワイン振興会)	11月18日(土)、 19日(日)	19人	むなかた模型作品展示会で実施。親子で力をあわせて、飛行機の模型(プラモデル)を作った。	無料
11	トヨタ自動車九州 モノづくり教室 ～電力回生自動車をつくろう!～	11月18日(土)、 19日(日)	48人	むなかた模型作品展示会で実施。自動車模型を制作しながら、モーターと発電機の仕組みを学び、完成後に実際に走らせて、豆電球の光り方でその原理を学んだ。	無料
12	メカホッパー工作教室 (株式会社イーケイジャパン)	11月18日(土)	18人	むなかた模型作品展示会で実施。太陽の光が当たると、発電してモーターが回転し、走るバッテリーロボットを作った。	1,500円
13	ロボシシ工作教室 (株式会社イーケイジャパン)	11月19日(日)	17人	むなかた模型作品展示会で実施。太陽電池を搭載し、モーターからギアに力が伝わる様子が見える構造のイノシシ型ロボットを作り、その仕組みを学んだ。	1,800円
参加人数合計			789人	* 有料体験 643人 * 無料体験 146人	



▲モノづくり教室 ～衝突安全ボデー～



▲親子プラモ組立教室

5 講座

1. 館長講座

概要：西谷正館長による講座を毎月1回開催した。

平成29年度は、考古学の視点で、原始・古代から近・現代まで、宗像地域が日本史全体の中でどのような位置にあったのかをわかりやすく解説した。

回数：12回

会場：海の道むなかた館 講義室

受講者数：延べ849人

回数	月日	内 容	
第1回	4月9日(日)	I 原始の日本	1. 日本のあけぼの —旧石器時代—
第2回	5月14日(日)		2. 狩猟・漁労と採集の生活 —縄文時代—
第3回	6月11日(日)		3. 農耕社会の形成と発展 —弥生時代—
第4回	7月9日(日)		4. 古墳文化の成立 —古墳時代前期—
第5回	8月6日(日)	II 古代の日本	1. ヤマト王権の形成と地域社会 —古墳時代中・後期—
第6回	9月10日(日)		2. 律令国家の成立 —奈良時代—
第7回	10月8日(日)		3. 平安京と東北の遺跡 —平安時代—
第8回	11月12日(日)	III 中世の日本	1. 平氏政権の崩壊と鎌倉幕府の成立 —鎌倉時代—
第9回	12月9日(土)		2. 武家社会の発展 —南北朝・室町・戦国時代—
第10回	1月14日(日)	IV 近世の日本	1. 織豊政権と桃山文化—安土・桃山時代—
第11回	2月11日(日)		2. 幕藩体制の成立 —江戸時代—
第12回	3月11日(日)	V 近・現代の日本	1. 近代考古学の諸問題 —明治・大正時代— 2. 現代考古学の諸問題 —昭和時代—

2. 世界遺産登録記念講演と特別対談

『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群の世界遺産登録を記念して、記念講演と特別対談を行った。

(1) 記念講演『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群

日程：平成29年7月15日(土)14時～15時

講師：西谷正(海の道むなかた館館長)

受講者数：96人

(2) 特別対談「森・里・川・海・空と鎮守の杜」**～自然と文化を次代に引き継ぐには～**

日 程：平成29年7月15日(土) 15時30分～16時30分

対談者：葦津敬之(宗像大社宮司)

長谷川法世(博多町家ふるさと館館長・漫画家)

西谷正(海の道むなかた館館長)

受講者数：96人

3. 西谷館長ギャラリートーク

概 要：正月三が日に、毎年恒例の西谷正館長によるギャラリートークを行った。

テーマ：「韓国の祭祀遺跡」

日 程：平成30年1月1日(月・祝)～1月3日(水) 10時～11時

演 題：

1日(月・祝)	海の祭祀一竹幕洞遺跡
2日(火)	里の祭祀一論峙遺跡
3日(水)	山の祭祀一月出山遺跡、海の祭祀一南海神祠遺跡

○受講者数：計61人

4. 出張講座(ルックルック講座)

講座名：宗像地域の歴史を学ぶ

内 容：宗像地域の歴史について、映像や体験などを交えながら学ぶ

受講団体数：19件 受講者数：957人

実施日	団体	受講者数
4月12日(水)	田熊町福社会	18人
6月10日(土)	福岡県立宗像中学校	80人
6月17日(土)	宗像市立自由ヶ丘南小学校	74人
6月25日(日)	岬地区コミュニティ運営協議会	17人
8月9日(水)	むなかた歴史を学ぼう会	19人
9月8日(金)	宗像市立自由ヶ丘南小学校	67人
9月14日(木)	宗像市立日の里西小学校6年生	107人
9月20日(水)	宗像市立自由ヶ丘南小学校	63人
9月28日(木)	あいデイサービス玄海	34人
10月10日(火)	宗像市立自由ヶ丘南小学校	64人
10月31日(火)	宗像市立南郷小学校6年生	2人
11月11日(土)	玄海東小学校PTA文化教育委員会	55人
12月3日(日)	むなかた古道プロジェクト	49人
1月17日(水)	宗像市立玄海小学校	14人
1月18日(木)	宗像市立河東西小学校4年生	100人
1月26日(金)	宗像市立赤間小学校3年生	134人
1月30日(火)	むなかた歴史を学ぼう会	22人
2月14日(水)	宗像市立玄海東小学校	20人
3月27日(火)	むなかた歴史を学ぼう会	18人

6 各種イベント

1. ゴールデンウィーク特別体験学習

日 程：平成 29 年 5 月 3 日(水・祝)～5 月 5 日(金・祝)
内 容：選べる勾玉づくりや土器づくり、石けんで石剣づくりを開催した。

2. 海の道むなかた館リニューアルイベント

日 程：平成 29 年 7 月 14 日(金)～7 月 16 日(日)
内 容：『「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群』の世界遺産登録や 7 月 15 日～17 日の大島交流館オープン記念イベントの開催にあわせて、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連資産群のガイダンス施設としてのリニューアルを記念してイベントを開催。14 日はミュージアムコンサート「鎮国寺住職の講演と声明ライブ」、15 日は「世界遺産登録記念講演と特別対談」、16 日は特別体験学習「化石発掘体験」「藍染め体験」を実施。

3. 夏の課外授業(夏休み特別体験学習)

日 程：平成 29 年 7 月 21 日(金)～8 月 31 日(木)*夏休み期間中
内 容：トヨタ自動車九州によるモノづくり教室や福岡教育大学による古代アートでエコバッグづくり、子ども考古学教室などを開催した。

4. 宗像大社みあれ祭陸上神幸

日 程：平成 29 年 10 月 1 日(日)
内 容：宗像大社みあれ祭海上神幸の後、地元のコミュニティや小中学生、宗像大社氏子青年会などの奉仕者が、奉行や巫女、稚児の衣装を身にまとい、玄海コミュニティ・センターから辺津宮一の鳥居まで、宗像三女神のご神体を乗せた神輿を担いだ。



▲宗像大社みあれ祭陸上神幸

5. 第 4 回むなかた模型作品展示会

日 程：平成 29 年 11 月 18 日(土)、19 日(日)
内 容：入場者による出展作品の人気投票や協力団体によるプラモデルの組立教室などを開催した。
また玄関前では、「むなかた館マーケット」を開催し、宗像産の物産販売ブースや飲食の出店ブースを開設した。



▲むなかた模型作品展示会

6. 正月イベント

日 程：平成 30 年 1 月 1 日(月・祝)～1 月 3 日(水)
内 容：西谷正館長によるギャラリートークや体験学習「開運! 勾玉づくり」、獅子舞を行った。

7. ミュージアムコンサート

2カ月に1回(奇数月)、館への集客と文化振興のため、宗像にゆかりのあるアーティストや団体等を招き、コンサートを開催した。

入場者数：651人

(1) Vol.29 ～悠久の歴史に想いを馳せて～歌で綴る姫神の宝物

日 程：平成29年5月19日(金)

出演者：【歌唱】横山浩平、重住千寿香、山内秀美、

【伴奏】花田隆子

【歌唱協力】宗像少年少女劇団、リズムミックダンス教室

演 目：姫神の宝物、イクシ、釣川から、沖ノ島、

未来の子供たちへ 他

入場者数：92人



Vol.29 歌で綴る姫神の宝物

(2) Vol.30 ～静かなる感動～鎮国寺のお話と声明ライブ

日 程：平成29年7月14日(金)

出演者：堤大恵(法蔵院)、檜枝祐詳(大日寺)、楠野吉弥(観音寺)、

楠野彰真(観音寺)、立部瑞航(鎮国寺)、立部瑞真(鎮国寺)

演 目：鎮国寺縁起、鎮国寺と宗像大社、声明についての解説、

声明ライブ

入場者数：145人



Vol.30 鎮国寺のお話と声明ライブ

(3) Vol.31 ～クラシックギターのゆうべ ～波間に揺れるバルカローレ

日 程：平成29年9月15日(金)

出演者：橋口武史

演 目：グリーンスリーブス、シチリアーナ、バルカローレ 他

入場者数：90人



Vol.31 波間に揺れるバルカローレ

(4) Vol.32 ～今宵はセシボン～魅惑のシャンソン

日 程：平成29年11月17日(金)

出演者：【歌唱】園ひろ子、【ピアノ】藤岡睦子

曲 目：パリの屋根の下、セ・シ・ボン、時は過ぎてゆく 他

入場者数：65人



Vol.32 魅惑のシャンソン

(5) Vol.33 ～世界最古のオーケストラ～Gagakuの調べ

日 程：平成30年1月19日(金)

出演者：雅楽会「和雅音」、西教寺雅楽会「美妙音」

曲 目：平調 音取、催馬楽 更衣、平調 越殿楽 他

入場者数：140人



Vol.33 Gagakuの調べ

(6) Vol.34 ～Spring classic～原田哲男チェロコンサート

日 程：平成30年3月16日(金)

出演者：原田哲男

曲 目：バッハ無伴奏チェロ組曲より第四番変ホ長調、

カサド無伴奏チェロ組曲

入場者数：119人



Vol.34 原田哲男チェロコンサート

7 他イベントとの連携

市内にある施設での事業連携を積極的に行い、館のPRや郷土文化の紹介に努めた。

1. 福岡県立宗像中学校・高等学校 文化祭

日 程：平成29年5月27日(土)

場 所：宗像中学校・高等学校

参加人数：56人(勾玉づくり)



▲宗像中学校・高等学校 文化祭

2. 道の駅むなかた 495まつり

日 程：平成29年10月7日(土)～

10月9日(月・祝)

場 所：海の道むなかた館

参加人数：39人(選べる勾玉づくり)

3. 北斗の水くみ観望会

日 程：平成29年11月11日(土)

参加人数：24人

4. 玄海わくわくチャレンジデー

日 程：平成29年11月23日(木・祝)

場 所：福岡県立玄海少年自然の家「玄海の家」

参加人数：60人(勾玉づくり)



▲玄海わくわくチャレンジデー

5. むなかたわくわく教育フェスタ

日 程：平成30年1月28日(日)

場 所：宗像ユリックス

参加人数：60人(勾玉づくり)

6. アサギマダラ観察会

10月8日(日)にむなかた電子博物館主催で開催予定であったが、フジバカマの開花遅れによって、アサギマダラが飛来していないため開催中止となった。



▲むなかたわくわく教育フェスタ

8

文化財保護事業

1. 開発事前審査

今年度、本市では埋蔵文化財の有無にかかる事前審査を1037件受け付けた(表1)。前年度比約110%である。そのうち17件について試掘・確認調査を行った。これに基づき文化財保護法第93条第1項では21件の進達を行った。記録保存等での発掘調査に伴い、文化財保護法99条1項を適用したのは3件(田久水谷遺跡、光岡辻ノ園遺跡3次、野坂裏遺跡)である。

内 容	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
事前審査	564	689	919	945	1,037
試掘・確認調査	37	26	28	13	17
93条1項(土木工事等のための発掘に関する届出)	36	28	28	27	21
94条1項(国の機関等が行う発掘に関する通知)	7	1	0	1	0
99条1項(地方公共団体による発掘の施行)	5	1	1	3	3

表1 過去5年の開発事前審査件数

2. 文化財の指定・現状変更

今年度は、市指定文化財3件が新たに指定されたほか、国指定文化財1件が追加指定された(表2)。

現状変更は12件を受け付けた(表3)。

(1) 新指定・追加指定の文化財

区 分	指定名称	指定年月日	内 容
国指定史跡	宗像神社境内	平成29年10月13日	沖ノ島周辺海域(沖ノ島灯台から半径2km)を追加指定
市指定有形文化財	王丸八幡神社棟札	平成29年10月31日	天正9(1581)年から大正2(1913)年までの社殿の造営・修復に関する一連の棟札9枚
市指定無形民俗文化財	宗像大社みあれ祭	平成29年8月22日	宗像大社で中世に行われていた祭事を参考に、昭和37(1962)年に考案・整備された祭
市指定有形民俗文化財	王丸八幡神社宮座行事関連資料	平成29年10月30日	江戸時代から現在までの宮座行事の内容・変遷の実態を知ることができる神社関係資料128点

表2 平成29年度新指定・追加指定文化財

(2) 現状変更を行った指定文化財

平成 29 年度、宗像市内にある指定文化財について、現状変更を 12 件受け付け、うち 5 件は文化庁が、7 件は市教育委員会が許可した(表 3)。

指定名称	変更内容
国指定史跡 宗像神社境内 (沖ノ島) 国天然記念物 沖の島原始林 (沖ノ島)	沖津宮社殿修理
	ネズミ類生息調査 *
	沖ノ島灯台管理道補修
国指定史跡 宗像神社境内	第二宮・第三宮改修 *
	幄舎改築
	中津宮参道整備 *
	中津宮脱衣所撤去 *
	辺津宮敷地整備 *
	勅使館建て替え
	Wi-fi 整備に伴う配管工事 中津宮取水設備工事 *
国指定史跡 田熊石畑遺跡	建築物等除却 *

表 3 平成 29 年度指定文化財現状変更一覧 *…市教育委員会許可

3. 田熊石畑遺跡歴史公園の利活用状況

弥生人の生活を体感する周年イベント・秋祭りの実施やいせきんぐ菜花園の運営などを行った。さらに、村っ子づくりいせきんぐ事業を継続し、子どもの見守りや歴史公園の特性を生かした体験学習を開催することで、地域の子どもたちが郷土の歴史や文化に関心や誇りを持てるための啓発活動を行った。

(1) 入園者数

(単位：人)

月	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
4	—	1,845	1,601
5	—	1,693	1,681
6	—	1,077	1,853
7	12,159	11,334	10,181
8	694	696	1,073
9	1,431	1,213	1,370
10	2,295	1,256	1,711
11	2,365	2,291	2,320
12	1,804	1,118	1,994
1	1,283	1,302	1,264
2	1,479	1,272	1,306
3	2,486	1,911	2,160
年間計	25,996	27,008	28,514

平成 29 年度田熊石畑遺跡歴史公園入園者数

(2) イベント

① いせきんぐ宗像紙飛行機教室

日 程：平成29年4月15日(土)・16(日)、5月20日(土)・21日(日)

内 容：いせきんぐ宗像で紙飛行機づくりと全日本紙飛行機選手権大会予選会を開催した。

参加人数：66人

② いせきんぐ宗像周年祭マンスリーイベント

日 程：平成29年7月2日(日)～7月30日(日)

内 容：開園2年目記念イベントとして期間中の土・日曜日、祝日に土器づくり・勾玉づくりなど古代人の暮らし体験や大井下ノ原遺跡速報展、夏まつり東郷で歴史体験ブースを設置し、弓矢体験・火おこし体験などを開催した。

参加人数：274人

③ いせきんぐ宗像秋祭り

日 程：平成29年11月19日(日)

内 容：園内で栽培した赤米の収穫祭として古代食体験や弓矢体験・勾玉づくりなど歴史体験学習のほか、コーラス・演劇など寄合い処でのステージイベントを開催した。

参加人数：700人

④ いせきんぐ宗像歴史講座

日 程：平成30年1月20日(土)、2月17日(土)、3月17日(土)

内 容：最新の研究による宗像地域の歴史像について若手研究者を講師に招き、全3回の講座を開催。

参加人数：138人



▲いせきんぐ宗像周年祭



▲いせきんぐ宗像古代水田

9 むなかた電子博物館

1. 月間ページビュー

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成28年度	5,406	6,248	15,224	7,243	6,745	6,294	7,051	6,449	6,569	5,783	5,976	8,166	87,154
平成29年度	5,117	9,643	8,922	10,167	6,335	8,042	7,244	6,579	4,834	7,800	7,107	7,380	89,170

2. イベントの開催

(1) 北斗の水くみ写真展

「北斗の水くみ」、「北斗七星」の姿を写した画像データを広く募集し、受賞作品をむなかた電子博物館と海の道むなかた館で展示した。

募集期間：平成29年8月1日(火)～10月31日(火)

応募作品：13点

(2) 夏の課外授業「宗像の蝶を観察してみよう」

「むなかた電子博物館」を使いながら、宗像で見ることができる蝶とその観察方法を学んだ。

日程：平成29年7月30日(日)

会場：海の道むなかた館

参加人数：24人



▲宗像の蝶を観察してみよう

(3) アサギマダラ観察会

季節により、日本本土、南西諸島、台湾との間を渡るアサギマダラの観察会を企画したが、フジバカマの開花遅れにより開催中止となった。

日程：平成29年10月8日(日)【フジバカマの開花遅れにより中止】

会場：山田ホテルの里

(4) プラネタリウムと北斗の水くみ海浜公園で星空ウォッチング

プラネタリウムで北斗の水くみについて解説し、北斗の水くみ海浜公園で天体望遠鏡を使って観望会を行った。

日程：平成29年11月11日(土)

会場：宗像ユリックスプラネタリウム、北斗の水くみ海浜公園

参加人数：24人

10 統計

1. 平成29年度 月別入館者数

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
11,185	14,073	12,462	15,119	14,799	15,755	20,583	20,533	12,294	18,954	11,541	14,394	181,692

※開館以来の累計入館者数861,565人(平成30年3月31日現在)

2. 市内小・中学校入館者数

○市内小学校

(単位：人)

学校名	学年	日程	来館者数
吉武小学校	6年生	10月12日(木)	14
赤間小学校	6年生	1月11日(木)	169
	6年生	2月20日(火)	71
赤間西小学校	3年生	10月6日(金)	89
河東小学校	6年生	5月12日(金)	103
河東西小学校	6年生	6月22日(木)	77
	3年生	2月16日(金)	82
南郷小学校	6年生	7月11日(火)	34
	5年生	7月5日(水)	46
東郷小学校	6年生	9月12日(火)	95
日の里東小学校	6年生	6月28日(水)	48
日の里西小学校	6年生	6月8日(木)	61
自由ヶ丘小学校	5年生	2月21日(水)	90
自由ヶ丘南小学校	6年生	5月18日(木)	72
	4年生	9月28日(木)	78
	1年生	10月31日(火)	63
玄海小学校	6年生	6月7日(水)	19
	4年生	1月16日(火)	13
	3年生	10月12日(木)	※41
3月7日(水)		16	
玄海東小学校	6年生	10月5日(木)	26
	3年生	10月12日(木)	※41
地島小学校	3年生	10月12日(木)	※41
大島小学校	6年生	2月22日(水)	12
合計			1,319

※は3校合同事業による来館者数合計

○市内中学校

(単位：人)

学校名	学年	日程	来館者数
宗像中学校	3年生	2月1日(木)	65

3. 団体入館者数

○旅行会社・ツアー

(単位：件・人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	8	22	21	24	22	55	37	58	40	28	23	20	358
人数	255	623	665	669	623	1,108	1,114	1,574	1,170	910	566	579	9,856

○その他の団体(市内小・中学校を除く)

(単位：件・人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	21	21	28	21	26	25	47	66	27	23	21	12	338
人数	392	743	603	427	684	697	1,077	1,833	541	682	380	290	8,349

11 参考資料

1. 宗像市郷土文化学習交流館条例

平成23年12月28日

条例第23号

(設置)

第1条 地域の文化的資源である歴史、民俗、自然等に関する資料(以下「資料」という。)を収集し、保管し、調査研究の成果を集積し、及び展示してその教育的活用を図り、もって市民の教育、学術及び文化の振興に寄与するため、宗像市郷土文化学習交流館(以下「交流館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 交流館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
宗像市郷土文化学習交流館	宗像市深田

(事業)

第3条 交流館は、次に掲げる事業を行うものとする。

- (1) 交流館の事業の企画及び実施に関すること。
- (2) 資料の貸出し等に関すること。
- (3) 学校、地域等が実施する教育的活動との連携に関すること。
- (4) 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の価値の理解促進に関すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、交流館の設置の目的達成に必要な事業に関すること。

(平30条例8・一部改正)

(職員)

第4条 交流館に館長その他必要な職員を置く。

(入館の制限)

第5条 宗像市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、次の各号のいずれかに該当するときは、交流館の入館を拒み、又は交流館からの退去を命ずることができる。

- (1) 管理運営上の指示又は指導に従わないとき。
- (2) その他管理運営上支障があると認められるとき。

(損害賠償)

第6条 交流館に入館した者が、その責めに帰すべき事由により、施設、附属設備、展示品若しくは資料を破損し、滅失し、又は汚損したときは、これを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(協議会)

第7条 交流館の運営に関し必要な事項を審議するため、宗像市郷土文化学習交流館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、8人以内の委員をもって組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。

- (1) 学校教育及び社会教育の関係者
- (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (3) 学識経験者
- (4) 市民代表

4 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 前各項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

(委任)

第8条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、平成24年4月28日から施行する。

附 則(平成30年3月28日条例第8号)

この条例は、公布の日から施行する。

2. 宗像市郷土文化学習交流館条例施行規則

平成24年1月12日

教育委員会規則第2号

改正 平成25年1月22日教委規則第1号

平成27年3月18日教委規則第6号

(趣旨)

第1条 この規則は、宗像市郷土文化学習交流館条例(平成23年宗像市条例第23号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 宗像市郷土文化学習交流館(以下「交流館」という。)の開館時間は、午前9時から午後6時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、宗像市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が特に必要と認めたときは、これを変更し、又は臨時に開館することができる。

(休館日)

第3条 交流館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日にあたる時は、その翌日

(2) 12月29日から翌年1月3日まで

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会が特に必要と認めたときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(遵守事項)

第4条 交流館に入館する者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

(1) 館内で喫煙をし、又は火気を使用しないこと。

(2) 定められた場所以外での飲食をしないこと。

(3) 騒音を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。

(4) 危険物又は動物を持ち込まないこと。

(5) 前各号に定めるもののほか、交流館の管理及び運営に必要な指示に反する行為をしないこと。

(資料の貸出し)

第5条 教育、学術又は文化に関する団体等であって、資料の貸出しを受けようとするものは、宗像市郷土文化学習交流館資料貸出許可申請書(様式第1号)を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請を受けたときは、その可否を決定し、申請者に通知するものとする。

3 資料の貸出しを受けた者は、教育委員会の指示に従い当該資料を管理するとともに、それを転貸してはならない。

(資料の撮影等)

第6条 資料の撮影、拓本、模写、模造、複製、実測図作製等をしようとする者は、宗像市郷土文化学習交流館資料撮影等許可申請書(様式第2号)を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請を受けたときは、その可否を決定し、申請者に通知するものとする。

(寄贈又は寄託)

第7条 交流館は、資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

- 2 交流館に資料を寄贈又は寄託しようとする者は、宗像市郷土文化学習交流館資料寄贈等申込書(様式第3号)により教育委員会に申し込まなければならない。
- 3 教育委員会は、前項の規定による申込みがあったときは、その可否を決定し、申込者に通知するものとする。
- 4 教育委員会は、資料の寄贈又は寄託を受けたときは、寄贈者又は寄託者に通知するものとする

(寄贈等資料の取扱い)

第8条 寄贈又は寄託を受けた資料の取扱いは、特別の定めがあるものを除き、交流館が管理する一般の資料と同じ取扱いとする。

- 2 寄託を受けた資料が、天災地変その他不可抗力により破損し、滅失し、又は汚損した場合は、教育委員会はその賠償の責めを負わない。
- 3 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、寄託を受けた資料を返還することができる。
 - (1) 寄託期間が満了したとき。
 - (2) 寄託者から返還の請求があったとき。
 - (3) 前2号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認めたとき。

(協議会)

第9条 条例第7条に規定する宗像市郷土文化学習交流館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長1人を置くこととし、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 4 協議会の会議は、会長が招集し、議長となる。
- 5 協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。
- 6 協議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
- 7 協議会の庶務は、市民協働環境部郷土文化課において処理する。
- 8 前各号に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

(平25教委規則1・平27教委規則6・一部改正)

(雑則)

第10条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成24年4月28日から施行する。

附 則(平成25年1月22日教委規則第1号)

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則(平成27年3月18日教委規則第6号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

様式第1号(第5条関係)

宗像市郷土文化学習交流館資料貸出許可申請書

宗像市教育委員会 へ

住所
申請者 氏名
印
電話番号

宗像市郷土文化学習交流館の資料について、貸出しを受けたいので、下記のとおり申請します。

記

1 資料の名称及び員数

2 貸出しを受けようとする目的

3 貸出しを受けようとする期間

年 月 日(曜日)から

年 月 日(曜日)まで

4 損害賠償等について

(1) 資料は、借用期間中は教育委員会の指示に従い、慎重かつ丁寧に管理します。

(2) 資料を破損、滅失、汚損等した場合は、教育委員会の指示に従い原状回復し、又は教育委員会が定めた額を賠償いたします。

様式第 2 号 (第 6 条関係)

宗像市郷土文化学習交流館資料撮影等許可申請書

宗像市教育委員会 あて

申請者 氏名
住所
印
電話番号

宗像市郷土文化学習交流館の資料について、撮影等を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

1 資料の名称及び員数

2 撮影等の目的

3 撮影等の期間

年 月 日 (曜日) から

年 月 日 (曜日) まで

4 損害賠償等について

- (1) 資料の撮影等を行うときは、教育委員会の指示に従い、慎重かつ丁寧に管理します。
- (2) 資料を破損、滅失、汚損等した場合は、教育委員会の指示に従い原状回復し、又は教育委員会が定めた額を賠償いたします。

様式第3号(第7条関係)

宗像市郷土文化学習交流館資料寄贈等申込書

宗像市教育委員会 へ

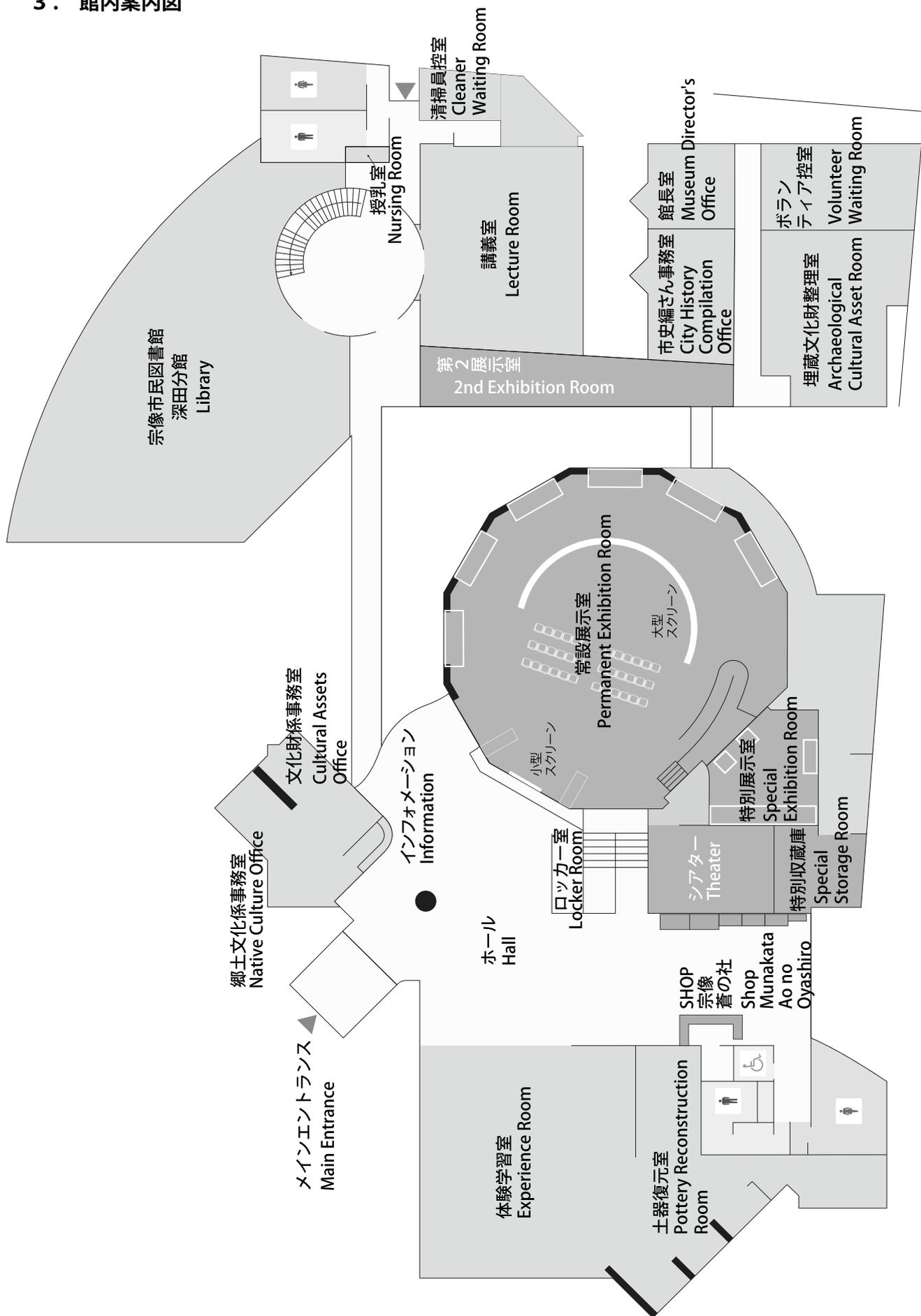
申請者 氏名
住所
印
電話番号

宗像市郷土文化学習交流館における調査研究及び展示の用に供する資料として(寄贈・寄託)したいので、下記のとおり申し込みます。

記

- 1 資料の名称及び員数
- 2 寄贈・寄託の別
寄贈・寄託
- 3、特別事項(条件)等

3. 館内案内図





▲ホール



▲体験学習室



▲SHOP 宗像蒼の社



▲3Dシアター



▲常設展示室



▲特別展示室



▲第2展示室



▲講義室

4. 平成29年度 「海の道むなかた館」イベントスケジュール

		平成29年																				
		4月				5月				6月				7月				8月				
項目	内容	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
海の道むなかた館 施設展示	企画展示																					
	第2展示室展示	海の道むなかた館 ～5年間の軌跡～				宮本秋風作品展																
	館長講座	● 4/9				● 5/14				● 6/11				● 7/9				● 8/6				
	ミュージアムコンサート					● 5/19								● 7/14								
	主要イベント					● ゴールデンウィーク 特別体験								海の道むなかた館 リニューアルイベント				夏の課外授業 (夏休み特別体験学習)				
	協力・関連イベント																					
世界遺産 関係	世界遺産 「神宿る島」宗像・ 沖ノ島と関連遺産群					● イコモス勧告								● 世界遺産委員会 パブリックビューイング				● 「神宿る島」宗像・沖ノ島と 関連遺産群の世界文化遺産 登録決定				
その他連携	学校向け ※年間を通して 受入実施					市内小学校 社会科見学受け入れ																
	いせきんぐ宗像													←→				● いせきんぐ宗像 周年祭マンスリーイベント				
地域の行事	宗像大社 鎮国寺	● 春季大祭																● 大祓式・夏越祭				
	その他									● 福岡県立 宗像中学校・高等学校				文化祭								

平成30年

9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月			
1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
																				「宗像の民—海の民と 里の民の結びつき—」							
				第4回 滝純一 絵画展				「わたしたちの水」絵画 コンクール作品展				海の道むなかた館 出前授業展				福岡県小学校児童画展 入選作品展(宗像市)				納富賢智作品展							
● 9/10				● 10/8				● 11/12				● 12/9				● 1/14				● 2/11				● 3/11			
● 9/15								● 11/17								● 1/19								● 3/16			
				● 宗像大社みあれ祭陸上神幸												● 正月イベント											
								● 第4回むなかた模型作品展示会																			
								● プラネタリウムと 北斗の水くみ海浜公園で星空ウォッチング																			
● 世界遺産 登録記念式典																											
----- 市内小学校 社会科見学受け入れ												----- 市内小学校 社会科見学受け入れ															
								● いせきんぐ宗像 秋祭り2017								● 第1回 歴史講座				● 第2回 歴史講座				● 第3回 歴史講座			
● 七夕祭				● 秋季大祭 ★ みあれ祭				● 西日本菊花祭 ● 七五三祭				● 古式祭・鎮火祭 ● 大祓式・除夜祭 ● 新年祭				● 節分祭											
				● 道の駅むなかた 495まつり				● 豊かな海づくり大会 in 宗像 ● 玄海わくわくチャレンジデー								● わくわく教育フェスタ											



海の道むなかた館年報VI

平成29年度の報告
～宗像市郷土文化学習交流館年報～

発行：平成30年9月1日

発行者：海の道むなかた館

(宗像市郷土文化学習交流館・宗像市教育委員会)

TEL：0940-62-2600 FAX：0940-62-2601

印刷：インプレッション株式会社

TEL：0940-51-2187 FAX：0940-36-9013

祝

世界遺産登録決定

「神宿る島」

宗像・沖ノ島と

関連遺産群

日本列島と朝鮮半島を結ぶ海域に

荘厳な姿を現す沖ノ島。

人々は古来、その島を敬い、畏れ、

祈りを捧げてきた。

五百年もの間営まれた祭祀の跡は、

その後、千年以上経ったいまも

当時の姿を残している。

国宝に指定された神への奉獻品は

八万点に及ぶ。

厳格な禁忌が今も受け継がれ、

立ち入りは許されない。

信仰の場は沖ノ島から大島、本土の三か所に広がり、

海の安全をつかさどる宗像三女神が鎮座する。

沖ノ島を含む三つの信仰の場からなる宗像大社と

沖ノ島祭祀を行った人々が眠る新原・奴山古墳群は、

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群として

二〇一七年七月に世界遺産に登録された。

「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議

www.okinoshima-heritage.jp